

Rotary Club of AMA weekly report.



2018~2019年度 国際ロータリーテーマ
**インスピレーションに
なろう**

事務所 〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル
TEL(052)451-6617 FAX(052)451-6710 e-mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp



2018-2019年度
RI会長 バリー・ラシン
第2760地区ガバナー 村井 総一郎
会長 大竹 敬一
副会長 家田 安啓
幹事 加藤 徹

例会日 毎週月曜
例会場 名鉄グランドホテル

【会報委員会】
委員長 山田 広明・神戸 剛
伊藤 英毅・山田 幸治

2019年3月25日（晴れ） 第3週 第2266回例会

Song ” それでこそロータリー”

Visitor 伊藤幸蔵君・田中正明君・枚田勝彦君
(津島RC)

Attendance

会員	78名	欠席	10名	出席率	85.07%
----	-----	----	-----	-----	--------

President Time 大竹敬一 会長



今日は、津島RCの伊藤次期会長、田中副会長、杉田同幹事にお越しいただいています。後程ご挨拶をいただきますが、引き続きあまRCを、よろしくご指導下さい。

一昨日、鈴村国際奉仕委員長と二人で、汐止RC社会奉仕事業に参加しました。今日は、そのご報告と台湾について若干の私見をお話します。汐止は地理的には台北市をドーナツ状に囲む広大な新北市の一部・汐止区の事で、台北中心街から東に車で30分くらいです。桃園の国際空港は、逆の西方向へ車で45分ほど行った所にあります。

この社会奉仕事業は、汐止RCが所属するRI3522地区の事業で毎年行われており、今年は汐止RCが当番だったようです。台湾で死因の上位を占めるB型・C型肝炎など肝臓

病の検査を無料で行い、その費用と参加者への福引景品などをロータリークラブが負担していると思われます。この日は小雨の中、3000人近い人たちが検査を受け、福引イベントを楽しんでいました。あまRCは20万円この事業に協賛させてしており、私も来賓として何度も登壇させていただきました。汐止RCとは姉妹締結をして30年近くになるとは思いますが、あまRCの唯一の姉妹クラブであり、50周年にも20名以上が来日されます。長く友好関係を続けてこられた先輩諸兄のご努力に敬意を表します。

台湾には、20代後半の頃に仕事でよく行きました。弊社の機械が台湾の果樹園、茶園、水田などでよく売っていた頃です。台湾はそれぞれの都市などのイメージが中部の日本に似ています。台北と東京（首都で大都会）、基隆と横浜（港町）、台中と名古屋（工業）、台南と京都（歴史の街）、高雄と大阪+神戸（商業と交易）などです。これらのエリアから中央の山地を超えた反対側（日本では日本海側、台湾では太平洋側）で美味しいおコメがとれる事も似ています。日本では新潟や北陸、台湾では花蓮や台東です。また台湾では、どこで何を食べても、まず外れはないと思っています。今回も50周年で来日される汐止RCの皆さんとのスケジュール打ち合わせなどのミッションをこなす鈴村委員長

Today	4月 8日（第2267回）
担当	高山 敏 50周年記念行事実行委員長
演題	50周年記念式典リハーサル
Next Week	4月15日（第2268回）
担当	田中正博 会長エレクト
演題	クラブアッセンブリー
	地区研修・協議会発表

をしり目に、私はずっと食べたり飲んだりしていました。
飲茶、台湾料理、サメや豚の肝…本当に楽しませていただきました。ありがとうございました。

今日の例会は、会員卓話です。川口君、加藤春視君、稲垣君、よろしくお願いします。

Secretary Report

加藤 徹 幹事

- 1 次週4月1日（月）は定款による休会です。次回例会は4月8日（月）になります。
- 2 鈴村與左衛門君に国際ロータリー第2760地区2019-20年度WFF実行委員会委員の委嘱状が参りました。



- 3 児玉憲之君に第4回MPHFピンが参りました。



- 4 大竹敬一君に第2回米山功労者感謝状が参りました。



5 第10回定例理事会のご案内

日時 4月1日（月）18:00

場所 桐の間 名鉄GH 11F



津島RCより伊藤幸蔵次期会長・田中正明次期副会長・杵田勝彦次期幹事

ニコボックス

ご投函有り難うございます

伊藤幸蔵君・田中正明君・杵田勝彦君（津島RC）

本日はお邪魔いたします。何かとお世話になります、
よろしくお願いいたします。

大竹敬一 会長

鈴村君、汐止訪問お疲れ様でした。

川口君、加藤春視君、稲垣君、卓話よろしくお願いします。

家田安啓 副会長

山崎川の桜が咲き始めました。春ですね。三好のゴルフが楽しみです。

加藤 徹 幹事

昨日蟹江町観光協会にてJR蟹江駅北側ヨシツヤ横の桜並木をライトアップしました。今週末ぐらい見頃です。ぜひお越し下さい。

栗木和夫君

伊藤英毅君、すごく格好良かったです。

栗木家の孫が、真木君家に迫る7人になりました。また男の子でした。感謝。

鈴村與左衛門君

会長、台湾お疲れ様でした。

田中正博君

津島RC次年度伊藤幸蔵会長・田中正明副会長・杵田幹事をお迎えしました。次年度ご指導をよろしく願います。

山田幸治君

人の土地に無断で柵を作る人がいます。腹が立つことの上ありません。警察に連絡して撤去して貰います。

山田尊久君

暖かくなりましたね。夏野菜の種を蒔く時期が過ぎてしまいそうで心配です。
今日の会員卓話、楽しみです。

青本道春君

一昨日、5人で蒲郡から鳥羽へ、ヨットで食事に行きました。食事がとても美味しく、限りある人生の2泊3日を楽しく過ごしました。

後藤雅光君

栗木君、先回はお世話になりました。

稲垣秀樹君

本日卓話、よろしく願います。

伊藤英毅君

昨日、久しぶりにゴルフに行きました。ご一緒いただいた皆様、有り難うございました。何時まで出来るかなあ？

伊藤正征君

昨日、久しぶりにゴルフをやろうかと、伊藤英毅君のお誘いにて桑名CCをご一緒しました。15年ぶりとは思えない腕前、背中から見る後ろ姿は、能の姿勢にも似た凛とした姿、そして常にピンを狙い18番ホールを全て歩く78歳の姿勢に感銘を受けた1日。最後にゴルフ部会への入会を認める握手を交わしました。

川口信義君

本日、卓話ですが拙話ですので聞いてやってください。

黒野晃太郎君

親睦活動IDM、楽しく、有意義でした。お酒の好きな委員会です。先が少々不安です。

水野 真君

昨日は朝、ラジオ体操。別院で彼岸會、豊明文化会館で第22回童謡第九の会、中電ホールで第30回長唄の会、金山で第20回ジャズクラブのライブで、夜ジム

でトレーニングで終わりました。有り難い1日でした。

中澤浩一君

理事長杯予選通過しました。マッチプレー頑張ります。大西晃弘君

申し訳ありませんが、本日早退させていただきます。

酒井和雄君

後藤雅光君と有名な天神山中学の同窓で、楽しく語り合いました。有り難う。

横井久雄君

本年もNPO元気大治まちづくり主催で、青少年育成イモづくり農園を開催します。イモの植え付けは5月11日（土）、ロータリー枠3名確保してあります。申し込みは4月末まで。

合 計 71,000円



「我が人生82年の回顧」

川口信義君



1936年（昭和11年9月3日）、三重県桑名に7人兄弟の5男として生まれる。兄4人・姉2人の末っ子で、上6人とは年令がちよっと離れていた。1945年（昭和20年8月15日）の終戦時は8才11ヶ月の小学2年生。戦後は当然ながら物資不足の折り、父親が目が悪く手術を受けたが失敗、完全盲目となり、贅沢は出来なくなり貧乏の生活となる。義兄（姉婿）の援助で大学を卒業し、染料科学をつくる会社に就職。すぐ大阪のドイツ科学会社「BASF」で1年間修業、帰社後、会社の営業販売に従事。取引先は紡績会社、織機会社etcで人間関係を培う。1962年（昭和37年11月

／26才)結婚。その後、常務取締役となって、更に営業活動に注力する。1973年(昭和48年／37才)に、我が社代理店のドイツ総合科学会社「ヘキスト」より招待を受け、ヘキスト本社に10日間、その後2週間の欧米旅行(1ドル360円)が大きな印象に残っている。1981年(昭和56年／45才)で社長に就任。1989年(平成元年53才)、あまRC初代会長大竹和美君よりお誘い受け入会。1994年(平成6年／58才)、東京営業所開設、東京・名古屋・大阪に3拠点で事業を拡大、その間多少の紆余曲折があり苦労も重ねたが、それも乗り越え業績も安定してきたので、2007年(平成19年10月／71才)で社長を退任、会長となる。2008年(平成20年9月)、愛知県癌センターにて大腸ガン手術。2012年(平成24年8月)、八事日赤にて心臓血管動脈瘤の手術。2013年(平成25年6月)名市大にてメラノーマ手術。2017年(平成29年8月／81才)、名大にて腹蔵動脈瘤の手術と、10年間に種々の手術を行った。中でも八事日赤では1年間の入院生活だったが、やっと最近は落ち着いた感だが、やはり腎臓を悪くしており、八事日赤には通院している状態だが全然病を気にしていない。性格故、酒だけは止めていない。人間万事塞翁が馬の詞の洋に、気楽な人生を送りたいと思っている。

最近、TVで巨大IT企業としてGAFAの存在が大きいことをほうどうしている。Google、Apple、Facebook、Amazonの頭文字を採ったGAFAは300兆円の会社で、検索・スマホ・SNS・Net市場etcと、世界を席卷している様子。更にAIの開発は目覚ましく、ドローンを使った自立型殺戮兵器システム(LAWS)、参加6ヶ国米・英・露・中・韓・イスラエルの6ヶ国が意っている。

完全なAIの開発は、人類の終演になる恐れありとホーキング博士も警鐘を鳴らしているが、日本は大丈夫かと心配する感がある。が、「21世紀は日本の出番」と題して筑波大学名誉教授の村上和雄さんがある雑誌に寄稿しているのを見るにつけ、感銘を受けました。アインシュタインは日本に期待した、という事、1922年に日本に40日間滞在し、次の言葉を残したのである。「世界は進むだけ進み、その間にいくどもいくども闘争を繰り返すだろう。そしてその闘争に疲れ果てる時が来る。その時世界人類派へ平和を求め、そのための世界の盟主が必要になる。その盟主とはアジアに始まってアジアに帰る。そしてアジアの最高峰、日本に立ち返らねばならない。我々は神に感謝する。典が我人類に日本という国を作ってくれたことを」と、97年も前に西洋の偉大な科学者が、東洋とりわけ日本の高い精神性に期待していたのである。その村上教授が遺伝子の研究に長年従事し、1983年にヒトの高血圧の遺伝子解読に成功し、

2000年にはヒトの全遺伝子暗号がほぼ解読された。解読にヒトの遺伝子暗号を眺めながら、ある時、人間を超えた何ものか(サムシング・グレート)がいなければ、でたらめに遺伝子暗号が書き込めるわけがないと感じた。人間の設計図は30億の科学の文字で書かれている。30億というと、百科事典の約3000冊に相当する情報量で、その暗号は顕微鏡で10億倍に拡大しても読めないような微細な文字で書かれている。それは誰が書いたのかはわからないが、確かに書かれている。遺伝子は親や祖先から受け継いだだけではなく、私達の体の中で一刻の休みもなく働いている。この人知を越えた遺伝子の働きは、どう考えてみても人間業ではなく、神業としか言いようがない。日本人は八百万の神や、サムシング・グレートについてずっと考えてきた。「私達の身体は地球からの借り物である」という思想も日本にある。これは科学的にも正しい。私達の身体全ての元素は地から来ている。借り物であるから、私達は一定期間地球に存在したら、身体を全て地球に返さねばならない。これからの時代は「いのちの親」でもあるサムシング・グレートに感謝して、自然と共に生きるという日本的な考えが、世界中で必要になってくる。科学・技術に偏り、弱肉強食、優勝劣敗の考え方では人類はやがて滅びるに違いない。自然と共に生きるという、日本人が培ってきた文化や思想は世界に役立つ。科学・技術を高いレベルでマスターしている日本人だからこそ世界に貢献できる。21世紀は日本の出番である・・・とその他詳細に述べられている。TVを見る本会も多くなり、IPS細胞研究の山中伸弥教授の、人体の中での腸の働き方をやっており、腸は一般成人で長さ8.5m、広さ32㎡(20畳分)と腸広い!腸は免疫を司り、万病を撃退する働きとして腸忙しい。腸内細菌として100兆個(1000種類存在、代表ビフィズス菌)等々。この腸内細菌と免疫細胞の働きが種々の病気原因を鎮めている。すべからく腸の働きの有り難さを教えられた。

加藤春視君



ロータリー活動の中で、思い出深い出来事は、大竹初代会長はじめ大先輩たちと創立30周年記念において、まだ入会間もない若造の私に、30周年記念の映像作成の仲間に入れて頂いたことです。何が良かったと申しますと、30年の歴史を振り返る中で、ロータリーについて、あまRCについて毎日のようにIDMを行う中、熱い情熱を肌で感じさせて戴きました中でも、「スマートにやりましょう」という言葉が一番印象に残っています。また、作成においては、段取り、手作り感等沢山のことを教えて戴きました。それからあまRCーに対してより親しみがわき楽しくなっていました。この大竹初代会長との出会いがなければ今この場で卓話を話していることもなかったでしょう。本当に感謝しています。ありがとうございます。

ここからは、プロジェクターを使って写真などで楽しんで頂けたらと思った2部となります。

2005年ころ、インドに魅了されて若かったので何か事業のチャンスがあるのではないかと何度も訪問をしていた時の写真を見つけたので当時を思い出しながらお話をしたいと思います。これをきっかけにして海外へ一人で旅をできるようになりました。今はずいぶん変わっているようです。へーこんなところもあるのだと興味を持って頂ければ幸いです。

最後になりますが、あまロータリークラブ創立50周年に向けて、特に、大竹初代会長はじめ、チャーターメンバーの皆さんが50周年を楽しんでいただけることを祈念しまして私の卓話とさせていただきます。本日はありがとうございました。

インドへの誘い

インド。それは人間の森。木に触れないで森を抜けることができないように、人に出会わずにインドを旅することはできない。

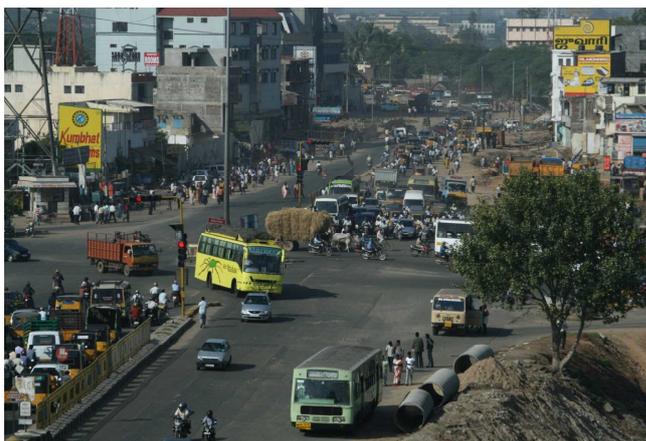
インドにはこういう喩がある。深い森を歩く人がいるでしょう。その人が、木々のざわめきを、小鳥の語らいを心楽しく聞き、周りの自然に溶け込んだように自由に歩き回れば、そこで幸福な1日を過ごすだろう。だがその人が、たとえば毒蛇に出会うことばかりおそれ、歩きながら不安と憎しみの気持ちを周りにふりまけば、それが蛇を刺激して呼び寄せる結果になり、まさにおそれていたように毒蛇に噛まれることになる。

インドは「神々と信仰の国」だという。また、「喧嘩と貧困

の国」だともいう。だが、そこが天国だとすれば、僕たちのいるここは地獄なのだろうか？そこを地獄と呼ぶならば、ここが天国なのだろうか？インドを旅するキミが見るのは、天国だろうか地獄だろうか？

さあ、いま旅立ちの時。インドはキミに呼びかけている。

「さあ、いらっしやい！私は実はあなたなのだ」



稲垣秀樹君



ロータリークラブでは、引き受けるときは「はい」か「YES」の2者択一。ということで、ここに立たせていただきました。

私は、平成23年9月5日に入会し、早いもので今年で8年目になります。入会当時はニコボックス委員・副委員長・委員長から始まり、出席委員長、社会奉仕委員長などを務めさせていただき、来期は国際奉仕委員長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

何を話そうかと思いましたが、父親の話をさせていただきます。父はチャーターメンバーの一人で、1979年7月より第11代会長を務めました。父は、家でいつも怒った難しい顔をしていて、会社でもいつも怒鳴っていました。ロータリーではどうかといいますと、やはり怒った顔をしているんですね。池崎会員が、歴代会長のインタビューをまとめて例会の前に発表してくださっていましたので、その時の話を伺ってみたところ、皆さんが口を揃えておっしゃっていたのが、「いつも稲垣さんのお父さんには叱られた」ということでした。いつもどこでも怒っている印象のようです。

実は、「物事はこうあるべきだ」という思いがとても強く、そこから外れた事柄を許すことができないという性分のようなです。とりわけ、ロータリー愛が強いのです。例会は出席の義務があるので、例会を欠席すると、次回の例会時に「何故お前は例会を欠席したのか」と叱責されたこともあったようです。「何故欠席するのか」と言われても「用事があったから欠席せざるを得なかった」わけでありまして、何もそこまで言わなくてもいいのではないかと思います。しかし、父は黙っていることができなかったようです。しかし、叱るといっても、「その人にはこうなってほしい」という思いといいますか、厳しさの中に優しさがあるように思います。だからこそ、ロータリーでの議論に自然と熱が入る。そういった人でした。家に帰ると、父はいつもロータリーの情報誌を読んでいるか、囲碁をしているか、の印象が強く、人一倍勉強熱心でした。本当にこよなくロータリーを愛していたのだと思います。

今回卓話のネタ探しのため、父が長年したためていた日記を読み返してみました。1970年1月1日（39歳のころ）から2012年12月7日（82歳のころ、倒れる3か月前）までほぼ一日も欠かさず書いていた日記です。結果、まったく参考になりませんでした。なぜなら、独特の字というか、暗号のような字というか、文字として判別できなかったからです。何とか断片的に解釈できる字をつなげて日記を読みますと、昔の記憶がよみがえってきまして、父の思

いに少し触れることができたように思います。その中から1つだけ紹介したいと思います。

私は身長が低いので、そのことを父が困ったことだと嘆いていたようでした。背が低いのは運動不足のせいだと考え、よく近くのボーリング場に連れていかれました。身長の問題はついに解消されていませので、それは運動不足のせいではなく、遺伝だと思えます。ゲームでは、「息子に負けた」「今回も負けた」「今回はやっと勝った、しかも2ゲームともだ」という記載があり、どれだけ父は負けん気が強かったのでしょうか。

今では、私の子供もすくすく育ち、長女は大学3年生、次女は小学校1年生になります。我々家族の行く末を見守ってくれているとともに、今でもこの例会に霊界から現れて、怒った顔をしながら激励しているに違いありません。

父の7回忌を迎える節目の年に、今回卓話の機会をいただき、もう一度父の残した日記に目を通す機会を得られたことに感謝申し上げます、私の卓話とさせていただきます。どうもありがとうございました。

親睦活動委員会

4月の誕生日のみなさん			
会 員	誕生日	夫 人	誕生日
西川 広樹	S.22.4.16	西川三枝子	S.22.4.23
上田 博行	S.24.4. 1	山田 弥生 (幹夫)	S.30.4. 5
武藤 正俊	S.28.4.27		
家田 安啓	S.31.4.23	竹田 直子	S.46.4. 16
篠田 耕伸	S.38.4.3	中西ドーラ	S.51.4. 1
敬称略		板津 妙子	S.55.4. 14

